

平成 16年度 地域予算一覧

(単位:千円)

県民局名	主 担 部 局	事 業 名	事 業 費
北 勢	農林水産商工部 【農水商工部】	2005年集客交流戦略に向けた集客資源の発掘と情報発信事業費 御在所湯の山地域ふるさとづくり推進協議会」が主体となった取り組みを支援し、湯の山地域を核とした観光産業の振興を図る。また、16年度は、体験型観光や自然環境を生かした観光等を中心に、魅力ある観光商品づくりと情報発信を行い、17年度以降を見据えて、地元が自立的に実施していくことができる体制を確立できるよう事業を支援する。	4,523
	農林水産商工部 【農水商工部】	観光資源ネットワーク化推進事業費 愛知万博の開催にあたり「ものづくりの拠点」である北勢地域を情報発信し、また想定される多くの外国人旅行者の受入態勢を整えるために、北勢14市町で構成している「北伊勢広域観光推進協議会」と協働して、外国語通訳ボランティアの養成・登録・活用、外国人観光客向け観光パンフレットの作成・活用等を行う	803
	農林水産商工部 【農水商工部】	地域産業政策推進強化事業費（一部新規） 14年度に設置した「北勢地域経済振興会議」から提案された貴重な産業施策を的確かつ迅速に推進するために、「全体会議」と「燃料電池技術等の先端技術の研究開発を地域で進めるための分科会」を開催する。また、北勢地域立地企業が地域で存続発展できるよう企業情報の収集力を強化するとともに、工場立地法の相談等に対し、職員が企業訪問をする等のワンストップサービスを実施する。さらに、北勢地域立地企業の産業基盤を強化するため、道路等立地企業の事業環境の課題等を調査し、解決策の産業政策への反映を図る。	10,585
	農林水産商工部 【農水商工部】	研究技術開発促進普及事業費（新規） 北勢地域企業の燃料電池等の技術力の向上や研究開発を促進するため、北勢県民局内に北勢地域リエゾンコーナー（仮称）を設置し、企業の研究技術開発支援のための専門人材等に関する相談窓口を開設する。	1,316
	農林水産商工部 【農水商工部】	産業による地域づくり事業費 北勢地域の中小企業の経営や技術の高度化を図るため、大手企業等をリタイアした技術者や高度技能者、経営ノウハウを持った人材を活用し、経営・技術指導が必要な中小企業に派遣するとともに、リタイア人材のネットワークを構築し、人材が自立的に指導を行えるように支援する。	1,743
	地域振興部	桑名・員弁生活創造圏環境交流エリア構想推進事業費 今後の構想の推進のあり方や取り組み方向等について、環境交流エリア構想推進委員会の議論を踏まえながら、住民、企業、行政の明確な役割分担のもと、県としては、地元自治体で策定した「広域環境基本計画」との連携を図りながら、ごみの削減に資する施策への支援を中心に、具体的な取り組みを推進する。	4,903
	県土整備部	田切川 川づくり事業費（新規） 二級河川員弁川の支川にあたる田切川は、葦が繁茂し瀬や淵が多く見受けられ、水質の良い自然を残している河川である。員弁川水系では国の天然記念物及び絶滅危惧B類であるネコギギや絶滅危惧類に指定されているアカザの生息が確認されており、自然と共生する川づくりのあり方について、有識者、地域住民や関係機関等との協働により策定し、今後の河川事業に反映させる。	733
	計		
津	生活部	歴史街道広域ルートウォーキング事業費 歴史街道構想の推進を図るため、平成16年度は、総集編として生活創造圏域を越え、芭蕉生誕360年祭との連携や、市町村合併も視野に入れ、子どもや外国人等幅広い層の地域内外の住民が参画できるよう街道ウォークを展開するとともに、講演会等を実施することにより、文化や歴史遺産を通じた交流による地域づくりを行う	1,916

平成 16年度 地域予算一覧

(単位:千円)

県民局名	主 担 部 局	事 業 名	事 業 費
津 づ づ づ	生活部	安全 安心の通学路の整備システム推進事業費 子どもたちへの交通安全教育と連携して、子どもや教育現場、地域の発想を生かした安全 安心な通学路の整備を、学校・PTA 教育委員会 市町村 警察等との協働で行うシステムを構築するとともに、このシステムを学校の交通安全教育の実践に活用する。	2,500
	健康福祉部	妊産婦メンタルヘルス向上システム構築事業費(新規) 妊産婦に対し、産後うつ病等心の病のスクリーニングを実施することで早期に治療や支援を行い、健全な母子関係を構築し、児童虐待の予防を図る。また、三重大学との共同研究事業として実施することにより、今後の地域づくりに寄与する。	1,770
	農林水産商工部	産地まるごと 環境保全」推進事業費 (新規) 管内の梨生産は県下の生産量を誇り、住宅地に近い農地での生産、消費者に直結した販売という特徴を持っている。しかし、とくに住宅地周辺では農薬使用をできるだけ減らし、地域住民との相互理解を深めていくことが急務である。そこで香良洲梨部会が産地全体で取り組む性フェロモン剤導入による減農薬栽培を支援することで、環境にやさしいモデル産地づくりを行う	633
	計		6,819
松 阪	生活部	生活創造圏づくり交通事故のないまちづくり事業費 地域住民、PTA、老人クラブ、母親の会、企業、圏内 3警察署、市町村、県民局各部を構成メンバーとして平成 14年度に交通安全部会を立ち上げ、協働して事業を実施している。16年度は、15年度に住民等から事業提案されたプロジェクトの実践をアシストするとともに、交通安全部会としても広域的な取り組みを実践する。	1,741
	農林水産商工部 【農水商工部】	丹(に)と神の道ネットワーク推進事業費 伊勢本街道周辺に点在している自然、歴史、文化、伝統、人的な地域資源を活用し、中山間地域の町村、NPO等が広域的に連携して、地域内外の交流を促進し、個性のある地域づくりを行う	1,294
	農林水産商工部 【農水商工部】	松阪地域里地づくり実践事業費 (新規) ホトケドジョウ、メダカ等の希少動植物が確認され、すばらしい自然環境が残っている松阪市山添町地内の谷地田において、地域住民と行政が協働で、環境にやさしい里地づくりモデルの検証とその環境啓発を行い、この地域に恵まれた自然環境を保全する。	1,499
	地域振興部	生活創造圏づくり価値創造協働推進事業費 圏内の多様な活動主体に対して経営品質向上の取組を促すとともに、行政ニーズを明らかにすることにより、地域の総合力である「地域価値」の創出に資する。また、生活創造圏づくりの活動の場としての「であいの広場」を設け、支援を行う	2,386
	計		6,920
南 勢 摩	地域振興部	「きらり」と輝く伊勢志摩づくり事業費 伊勢志摩生活創造圏ビジョンのテーマに基づく広域 協働事業を3つの地域課題から実施することにより、第二次実施計画の協働目標である「きらりと輝く伊勢志摩みらいづくり」及び「2005年伊勢志摩再生」の実現を目指す。 (以下、事業を構成する取組の概要)	10,641
		伊勢志摩きらり里親の支援 伊勢志摩きらり「開選」で掘り起こした地域資源(きらり)を伊勢志摩の新たな集客交流資源として魅力向上を図るため、保全活用する里親(地域住民組織、NPO、語り部等)に対して育成支援を行う	(2,481)

平成 16年度 地域予算一覧

(単位:千円)

県民局名	主 担 部 局	事 業 名	事 業 費
南 勢 志 摩 つ づ き	地域振興部	・「いせしま健康もてなしの店」の推進 栄養成分表示、県産品標示、地元の食材を生かした郷土料理の提供、分煙(禁煙)、バリアフリー対応等に取り組む「いせしま健康もてなしの店」を内外へPRし、魅力アップ・付加価値化、参加店の加入促進等を行う	(1,127)
		国道 260号沿道景観形成 一般国道 260号からの美しい沿道景観を形成するため、16年度は、新たにモデル地区(2地区)について、地区住民、観光事業者、市町村、県等が協働により景観づくりアクションプランを策定する。また、前年度までにアクションプランを策定したモデル地区について、地域住民、市町村、県の役割分担のもと計画に基づき景観事業の実施を進める。	(4,437)
		伊勢志摩きらり汗選フォトコンテスト(新規) 一般公募のうえ選定した「伊勢志摩きらり汗選」を題材としたフォトコンテストを実施することにより、これらの地域資源に直接接するきっかけをつくり、自らの地域のすばらしさの再発見や、集客交流につなげる。	(1,181)
		みえのカキ安心システムの支援(新規) 伊勢志摩地域の特産品であるカキについて、生産者・飲食業者・行政が協働して食の安全に取り組むことにより、消費者の健康を守るとともに、これらの取り組みのPRや普及活動を通して、三重のカキの付加価値を高め、集客交流につなげる。	(1,415)
		計	10,641
	伊 賀	総合企画局	伊賀 関西戦略事業費 伊賀「関西戦略」に基づき、誇りをもって伊賀の情報を関西地域に対し発信するとともに、誇りを持って伊賀への来訪者を迎えるための気運の醸成を図り、情報交流と集客交流の増大を図る。
生活部		協働研究事業費 地域において、NPOと行政が協働することの必要性と協働のあり方について、実践しつつ考えていく。また、NPOからの提案をもとに、新規施策の導入、既存施策の見直しを図る仕組みを検討していく。	1,744
農林水産商工部 【農水商工部】		伊賀甲賀広域連携事業費 伊賀甲賀両地域に共通する地域資源を互いに連携し、住民参画により情報発信を行う。また、中部地域への情報発信事業を行う。	5,563
農林水産商工部 【農水商工部】		伊賀地域ブランド戦略プラン策定事業費(新規) 食の安全・健康志向等を背景に地産地消への回帰や地域ブランドによる地場産業の活性化の動きがある中で、伊賀地域の活性化を図るため、地産地消と地域ブランドを柱とした戦略プランを策定する。	1,550
地域振興部		木津川流域水環境啓発事業費 木津川流域の県境や行政・民間の垣根を越えた流域圏づくりの促進と水質、水量、治水、森林荒廃等の流域の多様な課題解決に向け、地域住民の関心を高めるため、木津川流域リフレッシュ事業推進協議会や伊賀の森づくり委員会(仮称)を構成し、対話の場づくりと普及啓発事業に取り組む。	1,250
計		12,998	
紀 北	環境部 【環境森林部】	紀北環境スクール'04(新規) 紀北地域の豊かな自然環境の保全を目指して、管内市町との協働により、小学校高学年の子どもたちを対象とした環境講座を開催し、子どもたちの環境保全意識の高揚を図る。	584

平成 16年度 地域予算一覧

(単位:千円)

県民局名	主 担 部 局	事 業 名	事 業 費
紀 北 つづき	農林水産商工部 【農水商工部】	東紀州特産水産物活用事業費(新規) 東紀州地域の特産水産物の斬新な活用並びに消費方法を開拓することにより、地域特産物としての定着化を図り、地場産業である漁業の経営安定化及び水産物の安定的な供給体制を確立に寄与する。	1,650
	地域振興部	熊野古道ゲートウェイ集客交流構築事業費(新規) 熊野古道世界遺産登録を契機に、古道を核とした地域全体の資源を有効に活用できるシステムを確立し、現在は行政主導である集客交流(観光)の円滑な民間主導への移行を促す。	3,733
	地域振興部	熊野古道CS調査事業費(新規) 熊野古道におけるニーズや課題を明確にし、訪れた方により一層満足していただけるような効果的な対策を行い、集客交流につなげていけるように、熊野古道を訪れた方1,000名を対象にCS(顧客満足)を中心としたアンケート調査を実施する。	2,000
	地域振興部	東紀州の海・ダイビング魅力アップ作戦展開事業費 地域の大きな資源であるダイビングを振興するために、東紀州ダイビング振興協議会と協働し、民間、漁協、行政が連携し、安心して楽しめる東紀州のダイビングエリアを広くPRし、集客を図る。	800
	地域振興部	体験の達人育成支援事業費 集客交流を促進するために、熊野古道の語り部や体験メニューの先生等の観光に携わる重要な人材のレベルアップを目的に研修会、講習会、ベンチマーキング等の事業や、今後の円滑な人材育成を図るツールとして不可欠な語り部や体験の先生用「教科書」づくりについて支援を行う。	800
	地域振興部	尾鷲ヒノキで熊野古道関連製品をつくらう! 事業費(新規) 森林・木材関係者等で構成する尾鷲林政推進協議会と協働し、地域の特産である尾鷲ヒノキを活用した熊野古道関連製品の開発やPRを行うことで、ヒノキの消費拡大と熊野古道のイメージアップを図る。	780
	計		10,347
紀 南	健康福祉部	紀南地域における保健・医療・福祉分野の新システム構築事業費 県、市町村、紀南病院、医師会、社協、三重大学等の関係機関による委員会で策定するアクションプログラムに基づき、保健、医療、福祉分野を統合連携することにより、ヘルスサービスを包括的に提供する住民サイトに立った新しいシステムを構築する。	1,417
	農林水産商工部 【農水商工部】	紀南地域園芸福祉実践支援事業費 園芸福祉の定着のための具体的な仕組みづくりを内容とした「紀南地域園芸福祉推進プラン」を15年度に策定し、16年度はそのプランが示す基本的方向に沿って、地域での実践活動に移る。園芸療法・福祉の効果の実証、普及、啓発、拠点づくり(人材育成、実践の場、交流の場)、園芸福祉を取り入れた暖地園芸の実践を行っていく。	4,125
	地域振興部	紀南地域活性化推進事業費 豊かな地域資源を活用し、地域の活性化をめざした紀南地域振興策の実現に向け紀南ツアーデザインセンター事業、紀南地域滞在促進モデル事業等の具体的な取り組みを市町村、地域内外の各種団体、地域住民等と協働で行う。	5,535
	地域振興部	紀南地域熊野古道活用推進事業費 熊野古道が世界遺産に登録されることに伴い必要となる様々な対策を総合的に検討する場としての「紀南地域世界遺産登録推進協議会」の活動を継続する。また、熊野古道アクションプログラムの基本方向に沿って、紀南地域において喫緊に対応が必要とされる事業の洗い出しを行い、市町村と協働で実施する。	7,027
計		18,104	
合 計		90,435	